

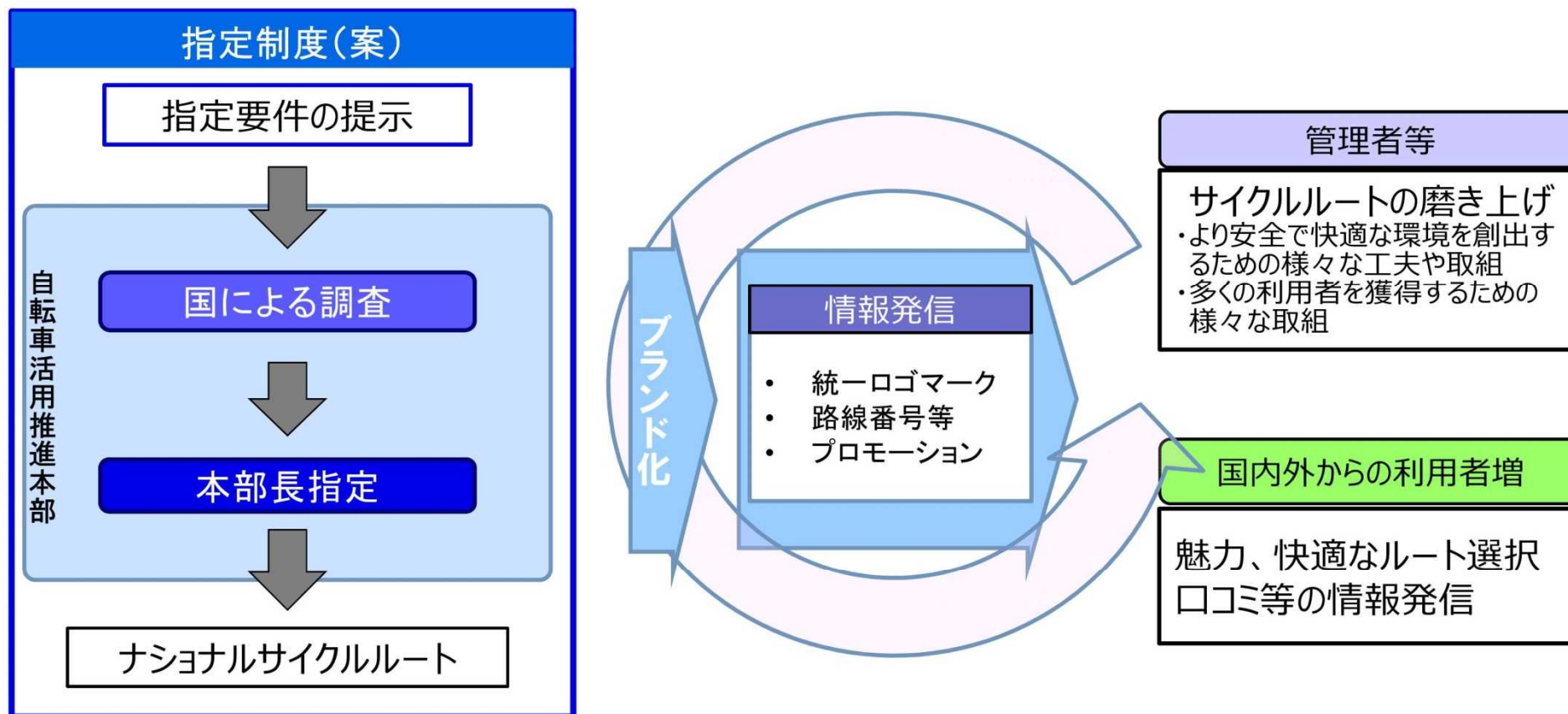
ナショナルサイクルルート制度 について



ナショナルサイクルルート制度の考え方



- 日本を代表し、世界に誇りうるサイクルルート指定・PRするナショナルサイクルルートを創設する。
- 指定要件を適切に設定することで、魅力があり、安全安心なルートとして国内外のサイクリストに情報発信するとともに、サイクルルートの更なる魅力向上に向けた取組を促進する。



1 ナショナルサイクルルートの考え方



【自転車活用推進計画(2018年6月8日決定) 措置】

日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートについて国内外へPRを図るため、ナショナルサイクルルート(仮称)の創設に向けて、インバウンドにも対応した走行環境や、サイクリングガイドの養成等受入れ先として備えるべき要件、情報発信の在り方等について検討する。



【目指すべき方向性】

優れた観光資源を有機的に連携したサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るために、一定の水準を満たすルートを対象としてナショナルサイクルルートに指定。
将来的には、全国のナショナルサイクルルートのネットワーク計画構想を策定。

【指定要件の観点と考え方】

要件については、ハード・ソフト両面から一定の水準を満たす環境が必要であることに加え、それらの魅力的な環境を国内外に向けて情報発信すると共に、一貫したコンセプトの下で継続的に利用環境の水準の維持、更なる向上を図る必要があることを踏まえ、以下のように設定。

観点	考え方
1. ルート設定	サイクルツーリズムの推進に資する魅力あるルートが設定されている
2. 走行環境	迷わず安心、安全に走行できる環境が整備されている
3. 受入環境	サイクリストのニーズに対応したサポートが充実している
4. 情報発信	必要な情報が容易に入手可能である
5. 取組体制	質の高いサイクリング環境を維持し、更なる向上を図るための継続的な取り組み体制がある

【制度の手続】

指定要件を満たすサイクルルートを事務局が調査し、第三者委員会での審議を踏まえ、自転車活用推進本部長が指定。

2 ナショナルサイクルルートの要件(案)



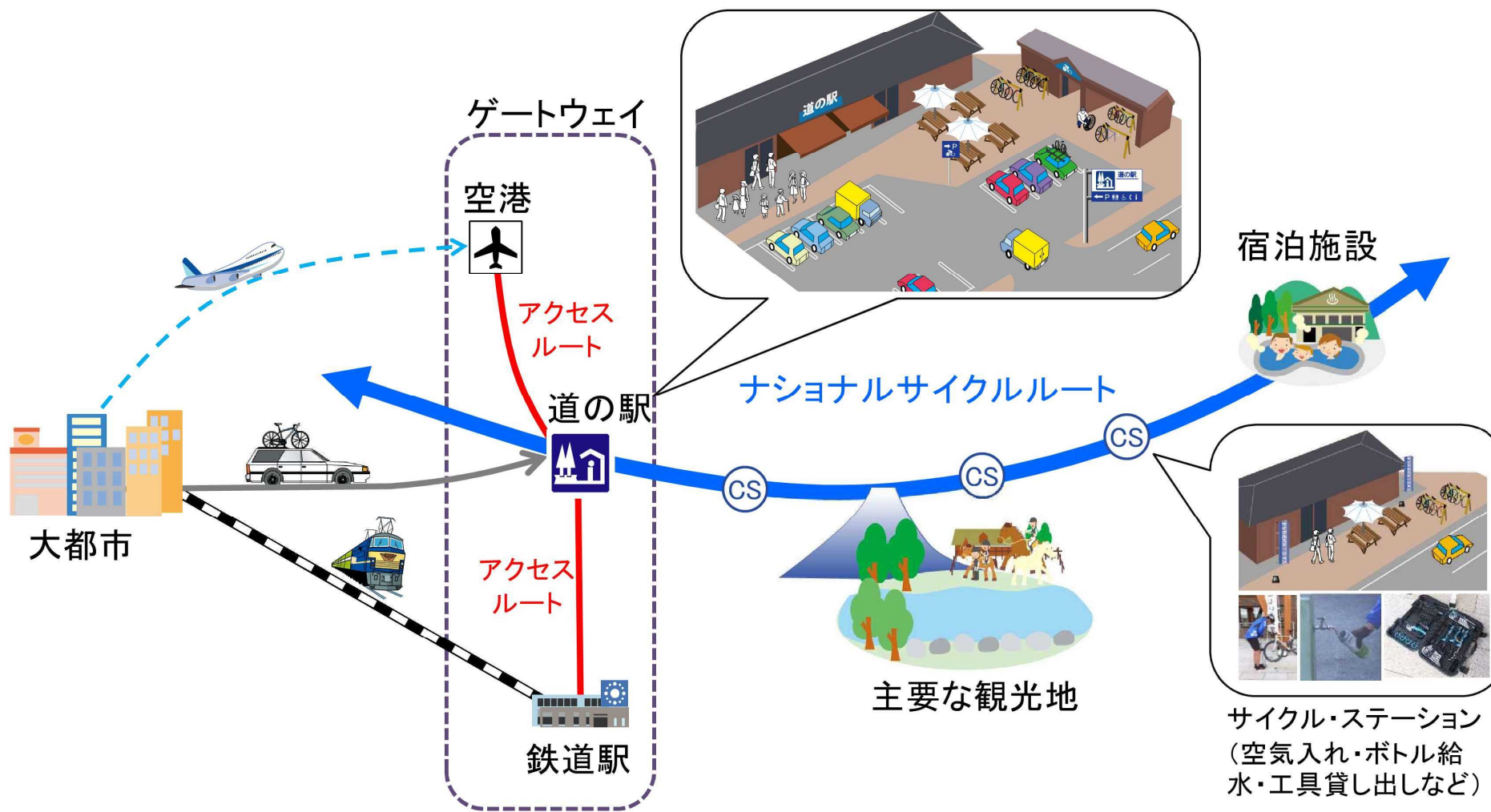
ナショナルサイクルルートの要件(案)

観点	要件
1. ルート設定	① サイクルツーリズムの推進に資するルート
	② 安全なルート(自動車交通量が少ない、道路幅員が広いなど)
2. 走行環境	① 誰もが安全・快適に走行できる環境
	② 誰もが迷わず安心して走行できる環境
3. 受入環境	① 多様な交通手段に対応したゲートウェイが利用可能な環境
	② いつでも休憩できる環境
	③ ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境
	④ サイクリストが安心して宿泊可能な環境
	⑤ 地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境
	⑥ 自転車のトラブルに対応できる環境
	⑦ 緊急時のサポートが得られる環境
4. 情報発信	① 誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信
	② 携帯可能で分かり易いルートマップが入手できる環境
5. 取組体制	① 官民連携によるサイクリング環境の水準維持等の継続的な取組体制の存在
	② 官民連携によるサイクリング環境の水準維持等の実施計画の存在

3 要件と評価項目(案)



ナショナルサイクルルートは複数自治体を跨ぎ、主要な観光地を連絡する延長100km超のロングライドルート进行想定。空港、鉄道駅、道の駅等に、サイクリストの受入施設となる「ゲートウェイ」を整備することが重要。



ナショナルサイクルルートの指定フロー(案)



■ナショナルサイクルルート指定フロー(案)

